



琴浦町 新型コロナウイルス感染症
緊急対策（補正第4号）

2020.5.27

琴浦町

目次

	ページ
○ 目 次	1
○ 事業費一覧	2
○ 琴浦町新型コロナウイルス感染症緊急対策の概要	3

No	事業名	ページ
1.	感染症予防対策事業 ※4号補正追加計上	4
2.	避難所環境整備事業	5
3.	未来のことうらっ子応援事業	6
4.	高校2・3年生を応援！ことうら商品券配布事業	7
5.	ひとり親家庭を応援！ことうら商品券配布事業	8
6.	ことうら大学生応援事業	9
7.	木のおもちゃで親子リフレッシュ事業	10
8.	自宅で運動！メディア等を活用した運動指導によるフレイル対策	12
9.	おうちで体操事業	13
10.	肉用牛肥育経営緊急支援事業	14
11.	琴浦町持続化給付金	15
12.	プレミアム付ことうら商品券発行事業	16
13・14.	G I G A スクール構想整備・推進事業	17

事業費一覧

(単位：千円)

No	事業名	所属	事業費	左のうち 臨時交付金対象	その他財源
1	感染症予防対策事業	総務課	2,000	1,000	感染対策寄附金
2	避難所環境整備事業	総務課	594	198	新型コロナウイルス感染症対策避難所特別支援 費補助金(県)
3	未来のことうらっ子応援事業	子育て応援課	2,781	2,781	
4	高校2・3年生を応援！ことうら商品券配布事業	子育て応援課	3,437	3,437	
5	ひとり親家庭を応援！ことうら商品券配布事業	福祉あんしん課	1,927	1,927	
6	ことうら大学生等応援事業	企画政策課	2,449	2,449	
7	木のおもちゃで親子リフレッシュ事業	子育て応援課	665	665	
8	自宅で運動！メディア等を活用した運動指導によるフレイル対策	すこやか健康課	500	500	
9	おうちで体操事業	すこやか健康課	361	0	介護保険事業費補助金(国)
10	肉用牛肥育経営緊急支援事業	農林水産課	7,270	7,270	
11	琴浦町持続化給付金	商工観光課	60,000	60,000	
12	プレミアム付ことうら商品券発行事業	商工観光課	21,600	21,600	
13	GIGAスクール構想整備事業	教育総務課	42,304	17,329	公立学校情報機器整備費補助金(国)
14	GIGAスクール構想推進事業	教育総務課	1,554	1,554	
合 計			147,442	120,710	

琴浦町 新型コロナウイルス感染症緊急対策

～ 町民の「いのち」と「暮らし」を守り、地域経済を立て直す！ ～

○対策の4つの柱

①感染防止対策

感染防止、臨時休校対応 等

②町民生活支援

町民の家計、生活、自粛した活動
の再開支援 等

③地域経済対策

官民を挙げた経済活動の回復

④コロナ後へ新たな変革

GIGAスクール、ICT技術導入、働き
方改革、サプライチェーン改革 等

第1弾

補正予算額：17億8,923万1千円

迅速に感染防止対策を実施するとともに、町民の家計、飲食店等を守るため緊急的な対策を予算化し、実行した。

◆4/22臨時議会 17億6,510万円

【1号】20,100千円

- 感染防止対策(消毒液等購入)
- 新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業
- 飲食店等応援キャンペーン
 - ・飲食店等事業継続支援事業
 - ・テイクアウト・デリバリー応援事業
 - ・プレミアム付ことうら食事券発行事業

【2号】1,745,000千円

- 特別定額給付金事業(国制度)

◆5/11専決処分・予備費対応 2,413万1千円

- ことうら産品で巣ごもり応援事業
- 子育て世帯への臨時特別給付金事業(国制度)
- 臨時休校に係る昼食提供事業

第2弾

補正予算額：1億4,744万2千円

国の支援制度を踏まえた上で、琴浦町の実情を調査し、必要とされる各方面へ町独自にきめ細かな支援策を講じる。(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)を活用)

◆5/29臨時議会

- 避難所環境整備事業
- 琴浦町持続化給付金
- 自宅で運動！メディア等を活用した運動によるフレイル対策事業
- ことうら大学生等応援事業
- 未来のことうらっ子応援事業
- 木のおもちゃで親子リフレッシュ事業
- 高校2・3年生を応援！ことうら商品券配布事業
- ひとり親家庭を応援！ことうら商品券配布事業
- 肉用牛肥育経営緊急支援事業
- プレミアム付ことうら商品券発行事業
- GIGAスクール構想整備・推進事業

等

◆6月定例議会等

- 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免
- 町税、公共料金(上水・下水)の支払猶予

※第3弾以降については、国の2次補正等を受けて6月議会以降に追加の対策を行う予定。

感染症予防対策事業

補正額: 2,000千円

(総務課)

【背景・課題】

- 4、5月の新型コロナウイルス国内感染拡大期において、町では公共施設の使用制限や、感染防止のためのマスク、手指消毒液、ハンドソープといった基本的衛生管理に必要となる資材の確保など、感染予防対策を行ってきた。
- 5月25日に緊急事態宣言が全面解除され、感染拡大は収まりつつあるが、今後第2波、第3波の感染拡大が想定される。
- 手指消毒液、ハンドソープといった一部資材は、流通量が少なかったことから十分な量を確保することができておらず、再度の新型コロナウイルス感染症拡大に備え、感染拡大防止対策のための衛生管理資材の整備が必要である。

【事業概要】

- 感染が拡大するおそれがある11月から3月にかけて、庁舎、図書館、公民館、集会施設等に必要となる手指消毒液、ハンドソープ等を備蓄する。

	備蓄目標 数量	4-5月 確保数	必要数量	補正金額
手指消毒液	220ℓ	100ℓ	120ℓ	450,000円
ハンドソープ	570,000mℓ	1,000mℓ	569,000mℓ	1,138,000円
消毒液	49.0ℓ	4.0ℓ	45ℓ	32,000円
ゴム手袋	12,000双	1,000双	11,000双	380,000円
合計				2,000,000円

避難所環境整備事業

事業費:594千円

(総務課)

【背景・課題】

- 出水期を迎え、大雨、台風等の影響により、今後避難所の開設機会の増加が予想される。
- 避難所は災害の規模によって、密集、密閉、密接した「3密」になることから、新型コロナウイルスの感染リスクが高まることが考えられている。3密防止のための対策が必要になるほか、避難所でのクラスター発生を防止するため、避難者の健康状態の把握、体調不良者のスペース確保等の対策を実施しなければならない。
- 平成30年台風24号では、保健センター2階に89人が避難し3密状態となったほか、体調不良者専用のスペースが確保できないなど、対策が急がれる。

【事業概要】

- 発熱、咳等の症状がある方の滞在スペースを確保するため、ワンタッチで設営、収納が可能なプライベートルームテント（10基）を購入し、避難所における新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。



これまでの避難所の状況

体調不良者等の
専用スペースを確保



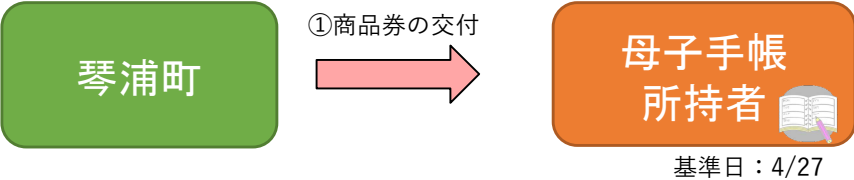
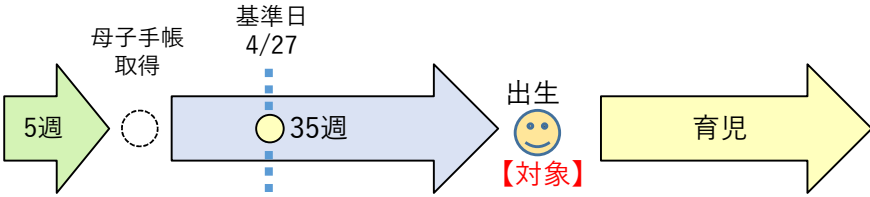
事業費

・プライベートルームテント@59,400円 × 10張 = 594,000円
(県2/3、町1/3)

未来のことうらっ子応援事業

事業費：2,781千円

(子育て応援課)

事業の内容	事業イメージ
(1) 事業目的 特別定額給付金事業(国)の対象とならない4/28以降に産まれる子供とその保護者に対し、コロナ禍における生活の支援として商品券5万円を支給し、安心して産まれてくる環境づくりに資する。 【背景】 ○出産のため産前・産後休業、育児休業等による収入減少 ○感染予防のための負担、外出自粛による精神的な負担増 (2) 対象者 4/27時点で母子手帳を有す妊婦（胎児） ※特別定額給付金の対象となる4/28以降、琴浦町民となる予定の胎児 (3) 支援内容 ことうら商品券 5万円分 (4) 事業費 2,781千円 商品券：55人×50千円 = 2,750千円 通信運搬費：31千円	(1) 交付イメージ  (2) 対象者イメージ図 

高校2・3年生を応援！ことうら商品券配布事業

事業費：3,437千円 （子育て応援課）

【目的】

高校2年・3年生のいる世帯は、子育て世帯への臨時特別給付金（国事業）の対象外となっているが、臨時休校や分散登校によるオンライン授業対応やマスク等衛生材料の購入等、感染防止対応により家計への負担が増えている。

商品券の配付を行うことで家庭への経済的支援に繋げる。

【事業方法】

高校2年・3年生世代に対し、対象生徒1人あたりことうら商品券1万円を配付する。

【事業費】 3,437千円

○対象人数：高校2年・3年生世代 330人

○商品券：3,300千円

○郵便代金：137千円

○ひとり親家庭を応援！ことうら商品券配布事業

事業費：1,927千円

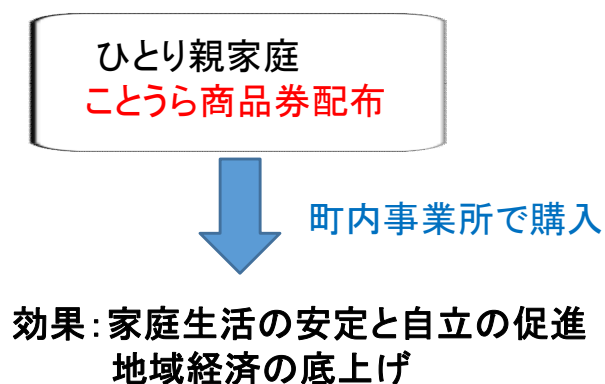
(福祉あんしん課)

【背景】 就労や子育てにおいて社会的弱者とされるひとり親世帯が、新型コロナウイルスの影響により更なる負担を強いられている中、家庭生活の安定及び自立を促進する対策が必要である。

【目的】 ・子どもをひとりで育てる父・母、養育者を応援
・ことうら商品券で地域経済の底上げを図る

【実施方法】 ひとり親世帯に対し1万円のことうら商品券を配布

【事業費】 1,927千円
(内 訳) 10,000円×185世帯
郵便代 77千円



こうら大学生等応援事業

事業費：2,449千円

(企画政策課)

新型コロナウイルス拡大防止のための外出自粛により、引き続き学業や生活に支障が出ている大学生等にふるさとの産品を送り、精神的、経済的負担を軽減する。町からのメッセージをつけて、町がふるさとの産品を送り、学生及びその保護者を支援することにより、学生等の町への関心を喚起し、将来的なUターン促進を図る。

【対象者】 琴浦町出身で自宅外から通学する高校卒業～20代の学生で専門学校、短大、4年制大学・大学院に通う者
※対象年齢人口約1,400人×70%×1/2≒500人

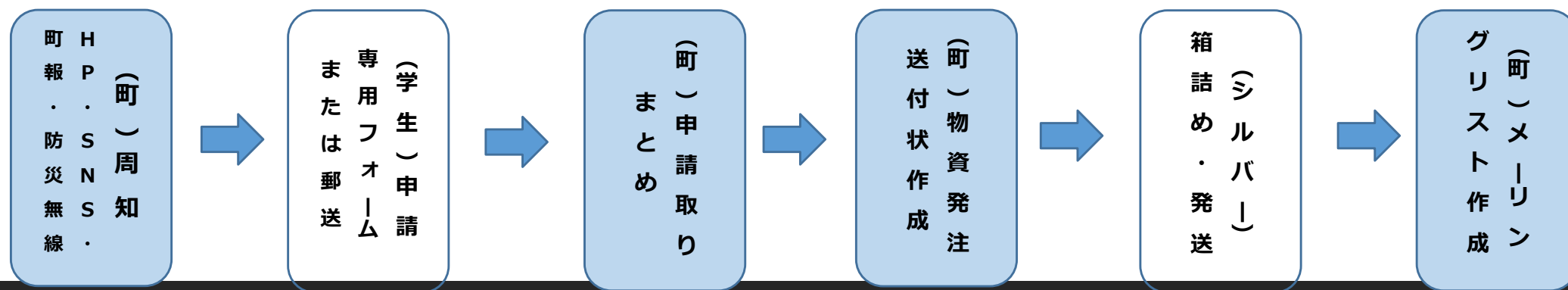
【申請方法】 インターネット専用フォーム利用、または郵送による申請（町内在住の家族からの申請も可）
在学証明書または学生証の写しまたは写真を添付、メーリングリストの登録が必須
※申込締切りは2回に分けて設定（6月下旬と7月中旬予定）

【送付物資】 町産米、レトルトカレー、菓子など3,000円相当の産品と町からのメッセージカード

【実施主体】 町（箱詰めと配送はシルバー人材センターに委託）

【要求内容】 商品購入費 3,000円×500件=1,500千円
箱代 100円×500件+50,000円（デザイン料）=100千円
送料 1,370円×500件=685千円（80サイズを関東へ配送で想定）
シルバー人材センター委託料（946円×10人×6h）×2回=114千円
消耗品費 50千円

合計2,449千円



木のおもちゃで親子リフレッシュ事業

事業費：665千円（子育て応援課）

【目的】

- 図書館で木のおもちゃをレンタルして家庭で遊べることで、3密を防ぎ感染防止となるとともに、親子のリフレッシュに繋がる。また、レンタルしてみて購入したいと思う場合もあり、木のおもちゃの普及・木育に繋がる。
- 木のおもちゃは高価であり、子どもの成長過程で遊ぶ時期は一時的であることから購入しにくいですが、これが図書館で本を借りるように木のおもちゃをレンタルできると経済的な支援に繋がる。

【事業方法】

- 図書館で図書の貸し出しに併せて木のおもちゃをレンタルできるようにする。
 - ・レンタル期間は2週間。数種類のおもちゃをレンタル用に3個ずつ準備する。
 - ・貸し出しと返却は図書館で行う。
 - ・木のおもちゃの管理(消毒・メンテナンス)は業者にて行う。

【事業費】 665千円

- 木のおもちゃ代金：390千円
- 木のおもちゃ管理手数料：225千円（25,000円×9カ月）
- 消耗品費：50千円



木のおもちゃで親子リフレッシュ事業



ねじあそび



汽車セット



トレインカーソロープ



サボテンバランス



ツミニー(Tuminy)



大工さん



ジュージューくるりん! キッチン

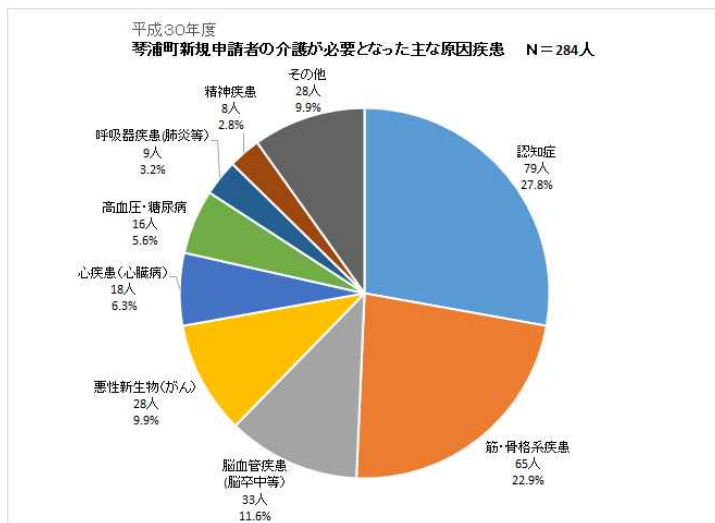


木ころん

自宅で運動！メディア等を活用した運動指導によるフレイル対策【事業費】500千円（すこやか健康課）

◎背景・課題の整理

- ①本町における、介護申請の原因疾患のうち、認知症及び筋・骨格系による疾患が原因となる者は、半数の50%に達する。
- ②教室や集いの場の休止など外出自粛より、自宅に籠ることによる運動不足、それに伴う筋力低下等によるフレイル・認知症等の進行がさらに懸念される。
- ③以上のことから、介護予防を進めるため、外出自粛時でも自宅で運動ができるよう、対策を講じる必要がある。



◎概要

緊急時対応段階

- ①運動指導映像の制作、有線放送等メディアを活用した放映及びネット配信
 - ・運動指導用映像資料DVD制作
 - ・地元CATV局を通じた放映
 - ・映像資料を町ホームページなどを通じた配信

②運動指導冊子の作成

- ・町報などに定期掲載していた運動指導記事に必要なに応じ運動項目を追加し、1冊の冊子として作成し配布

継続・回復段階

- ①資料を活用した健康教室等集いの場での運動指導
 - ・緊急時対応段階で制作した資料(DVD、冊子)を用いて、健康教室や介護予防サークルなどで指導を行う。

◎事業費積算

印刷製本費(300千円)

運動指導冊子印刷製本 300,000円

委託料(200千円)

運動指導映像資料の制作 200,000円
 ・運動指導DVD資料作成
 ・CATVでの放映

おうちで簡単体操 毎日続けて、理想のカラダへ！ シリーズ No.1 『スクワット』パート1



☆みるみる下半身が引き締まる
トレーニングの王道！
大きな筋肉を使って代謝UP
ダイエット効果も期待できます

足を肩幅より少し
広げて立つ
少しだけつま先を
外側に向ける
(外側に向け過ぎない)



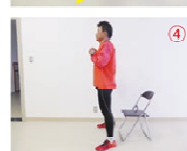
太ももが床と
水平になるように
膝をまげる(90度)



ポイント1
膝がつま先より
前に出ない



ポイント2
つま先と膝を同
じ方向に向ける



①の姿勢に戻る

(1日の目安)
10回～30回
2～4セット

イスの高さは40cmくらいが理想です。
自分のペースで無理のないように行いましょう。

令和元年5月～令和2年3月の町報に
掲載した「おうちで簡単体操」

おうちで体操事業

事業費：361千円

(すこやか健康課)

概要

新型コロナウイルス感染症予防として外出自粛による筋力・運動機能低下予防対策を目的とし作成、CATVを通じて放映した「おうちで体操」の映像資料のDVDを複製し、体育館、公民館、介護予防サークルなどに配布し、集いの場で広く活用することにより、高齢者を中心とした町民の筋力維持、フレイル予防を行う。

【詳細】

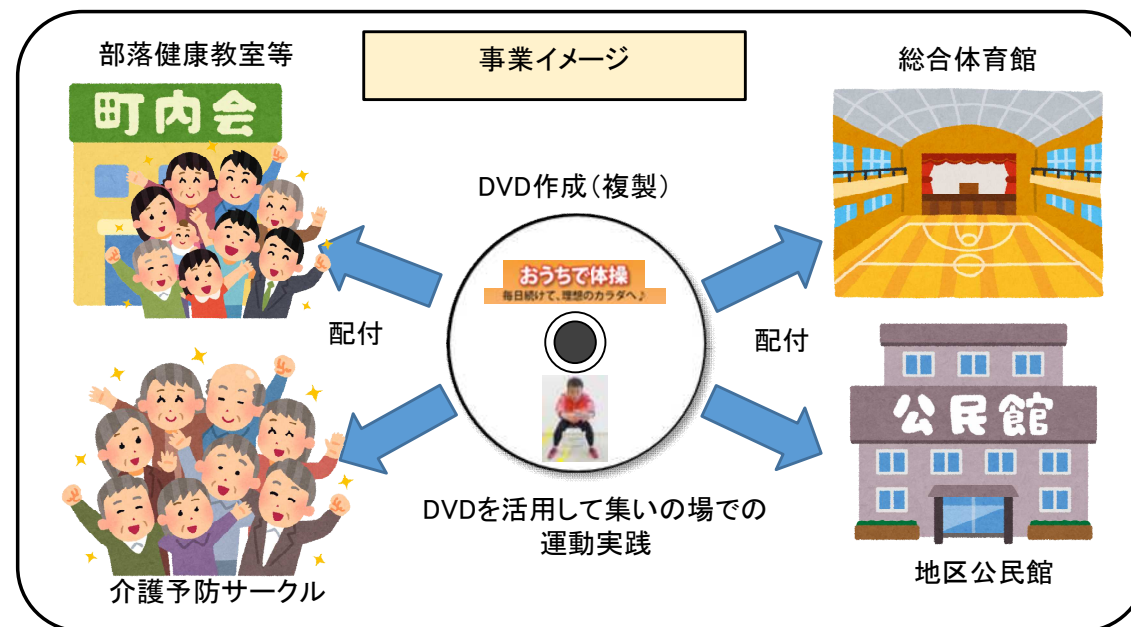
- ・おうちで体操DVD作成 150枚

【配布先】

- ・総合体育館
- ・町内地区公民館
- ・町内介護施設・医療機関
- ・介護予防サークル（希望団体）
- ・すこやか健康課 など

事業費

【歳出】	361千円	
・消耗品費		202,000円
・通信運搬費		39,000円
・委託料（DVD作成）		120,000円
【歳入】	240千円	
・国補助金（2/3）		240,000円



◎肉用牛肥育経営緊急支援事業

事業費：7,270千円

(農林水産課)

事業対象者

- ・肉用牛肥育農家

事業目的

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外食の自粛や訪日外国人の減少などで高価格帯の和牛の消費が著しく落ち込み、枝肉価格の下落により和牛肥育農家を取り巻く環境が悪化している。国の補てん制度である肉用牛肥育経営安定対策（牛マルキン）を拡充し、肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的とする。

事業内容

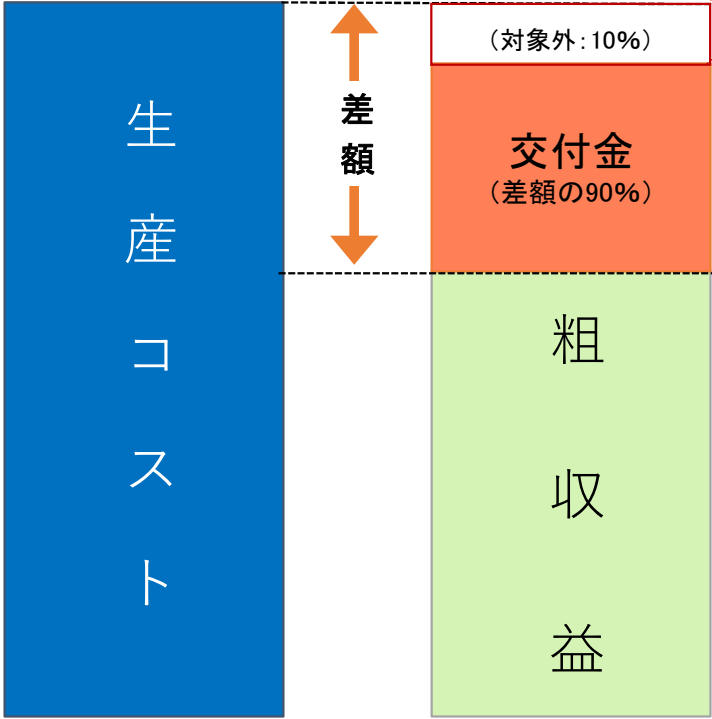
- ・標準的販売価格（粗収益）が標準的生産費（生産コスト）を下回った場合に(公社)鳥取県畜産推進機構から交付される肉用牛肥育経営安定特別対策事業の積立金（粗収益と生産費との差額の90%を補てんするもの）で交付されない部分を補てんする。

補助対象経費等

- ・粗収益と生産コストの差額のうち国の牛マルキン制度（粗収益と生産コストの差額の90%を補てんするもの）で交付されない部分を補てん
- ・補助率 補助対象経費の1/4
- ・補てん額 7,270千円（補助対象経費29,080千円×1/4）

助成概要

町で交付金に上乗せ
差額の2.5%を助成
※県は5.0%を助成



対象外	
補助	町：1/4
補助	県：1/2

標準的販売価格と標準的生産費の差額の90%を交付金として交付

琴浦町持続化給付金

事業費60,000千円

(商工観光課)

(1) 事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大により、経営に影響をうけた琴浦町内の事業者のうち、国の「持続化給付金」の対象とならない事業者とより深刻な影響を受けている事業者に対して、事業の継続や再起の糧としていただくため給付金を支給する。

(2) 給付要件・対象となる事業者

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年2月～5月のいずれかの月の売上が前年同月比20%以上50%未満減少していること。または前年同月比の売上が80%以上減少していること。

次のすべてに該当する法人、個人事業者

1. 琴浦町内に本社、本店など主たる事業所を置いている中小・小規模事業者及び個人事業主
2. 2019年以前から事業による事業収入を得ており、今後も継続する予定であること。
3. 町税を完納していること。

※第1次産業の事業者は対象外とする。

※琴浦町飲食店等事業継続交付金(一律10万円・売上高減少率20%以上)を受給した事業者は、10万円を差し引いた額を支給する。

●売上高減少率 20～49%

持続化給付金(国)対象外の事業所支援

●売上高減少率 80%以上

より影響が深刻な事業所には持続化給付金(国)に上乘せ

【参考】町内151事業所聞き取り状況

売上減少率	事業所数・割合
0%～19%	43事業所(28%)
20%～49%	58事業所(39%)
50%～79%	38事業所(25%)
80%以上	12事業所(8%)

※町内全事業所数:722 (H28経済センサス)

(3) 給付額 一律200千円

(4) 予算額 60,000千円

【売上高減少率:20～49%】 飲食店等:100千円×60事業所=6,000千円

その他 :200千円×240事業所(全事業者の約4割から飲食店等を差し引いた事業所数)=48,000千円

【売上高減少率:80%以上】 200千円×30事業所=6,000千円

プレミアム付ことうら商品券発行事業 事業費:21,600千円

(商工観光課)

(1)事業目的

新型コロナウイルス感染症拡大により町内事業者には大きな影響が出ていることを踏まえ、町民に対し、プレミアム価格で商品券を購入していただくことにより購入意欲を高め、町内の消費活性化ならびに域内経済循環の促進を図る。

(2)発行総額 1億2千万円(プレミアム分:2千万円、プレミアム率:20%)
500円の券24枚(12,000円分)を1セット10,000円で販売(1人 5セットまで)
※10,000セット販売！！

(3)商工会補助金 **21,600千円**
(プレミアム分:20,000千円、事務費等:1,600千円)

(4)スケジュール

【6月】参加事業所取りまとめ

【7月】商品券販売

※ 使用期間6ヶ月 (7月～12月)

※過去の実績

年	発行総額	プレミアム率
平成25年	2千2百万円	10%
平成26年	2千2百万円	10%
平成27年	1億2千万円	20%

GIGAスクール構想整備・推進事業 事業費：43,858千円（整備事業：42,304千円、推進事業：1,554千円）（教育総務課）

目的

文科省が1人1台の端末整備を前倒し実施する。

琴浦町ではこの制度により早期実現や家庭でもつながる通信環境の整備など「GIGAスクール構想」におけるハード、ソフト、人材を一体とした整備を加速することで、感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により子どもたちに学びを保障できる環境を実現する。

事業概要

- ・1人1台端末の実現に向けて、端末656台を追加整備する
- ・クラウド版の学習支援ソフトを導入する
- ・意欲ある教員によるICT教育の実践を支援する
- ・インターネット通信の不安定さを解決するため専用線を整備

予算内訳 (千円)			
	事業費	国補助金 (文科省補助金)	町 費
タブレット端末整備	42,304	24,975	17,329
インターネット専用回線整備	1,204	0	1,204
ICT教育パイロット事業	350	0	350
合計	43,858	24,975	18,883

「端末1人1台」の整備

補助対象：端末 45千円/台（基準日生徒数の2/3）
補助対象外：カバー、学習支援ソフト、指導者用端末

	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)
GIGA スクール 構想	1人 1台整備	小5～小6 305台			
		中1 145台	中2～中3 156台	小3～小4 265人	小1～小2 (237人)

前倒し！

年度	H31	R1	今回	総数
台数	286台	469台	656台	1,411台
小学生	204	305	375	884
中学生	74	145	232	451
教員	8	19	49	76
金額	25,311千円/年	31,740千円	42,304千円	

	歳出	歳入
小学校費	26,704千円	16,740千円
中学校費	15,600千円	8,235千円
合 計	42,304千円	24,975千円

購入台数：R2～R3生徒数最大値
補助基準：R1.5.1生徒数 × 2/3 × 45千円
* 予定数調査(R2.3時点)

タブレット端末 1人1台整備
 学習支援ソフト（クラウド版）
 校内ネットワーク工事
 各教室プロジェクター設置
 デジタル教科書

課題

学校現場でのより実践的な利活用方法について深める必要がある。

ICT教育モデル事業

目的：ICTを活用した教育の実践

対象：ICT教育に意欲ある教員

内容：タブレット端末等を活用した教育の先行実践を支援



インターネット回線

学校内での一斉授業のほか、臨時休校時等にはオンライン通信やデジタル教材を使った自宅学習に活用可能

オンライン通信や遠隔授業等のテストを実施

課題

Torikyou-Netの回線速度が遅く、繋がりが悪い。



インターネット専用回線整備

各学校のインターネット環境を確保するため、専用回線を整備

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ICT支援員配置										
デジタル教科書活用										
ミライシード活用										
公開授業 (ミライシード・デジタル教科書)	●	●	全教員対象		●	●	意欲ある教員による ICTを活用した授業の実践			
教職員対象ICT研修会										
デジタル教科書活用研修会										
ICT教育研究会										